



横浜市立汐見台中学校

学校だより

学び合い  
信じ合い  
高め合う  
未来を創る人となる



令和5年度 第1号 (令和5年4月14日 発行)

## 「あい(会・合・愛・挨)あふれる学校」「挑戦」

校長 湯口 理香

3月末に満開だった正門前の桜も、すっかり葉桜となりました。リレーのバトンタッチのように、すずらん、クリスマスローズ、チューリップ、ツツジ、ハナミズキ、フジと春の花が移り変わっています。入学式、始業式で令和5年度がスタートしてから一週間が過ぎました。

今年度は8名の教職員が着任し、教職員45名、部活動支援員、支援員を含めると54名の職員体制でのスタートになりました。

4月7日にPTA会長、運営協議会会長、各ご家庭2名までの保護者の皆様のご参加のもと、185名の新入生を迎えて入学式を行いました。天候が危ぶまれましたが、雨は新入生下校まで何とかもちました。新入生185名に加え、2年生189名、3年生190名を合わせて564名の生徒が今年度、汐見台中学校で生活することになります。教職員54名全員で力を合わせて、生徒の健やかな成長、学校教育目標の実現に向けて努力してまいりますので、ご理解とご協力、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本校の学校教育目標である「学び合い 信じ合い 高め合う 未来を創る人となる」について、今年も始業式と入学式で話しました。今年度はその目標の理解のために、分かりやすいキャッチフレーズを考え、「あい(会・合・愛・挨)あふれる学校」「挑戦」の2つを掲げました。

出会いの「会」。出会いが人生を変えと言われることもあります。汐見台中学校でのあらゆる場面での出会いを大切にしてください。合わせるの「合」。人それぞれいろいろな考え方がありますが、話し合って認め合って、合意形成を図って、一度決めたら支え合い、協力し合う。人とかかわるときに大切な「合」です。愛情の「愛」。相手を理解し、思いやりの気持ちをもって、困っている人がいたらそっと手を差し伸べることができる、思いやりや優しさを「愛」で表現します。最後に挨拶の「挨」。人と人がつながっていくために気持ちのよい挨拶を心がけたいです。おはよう、ありがとう、声を出していきましょう。

二つ目の「挑戦」。自分で限界を決めて決してあきらめないこと。自分のよいところは必ずあります。日々の生活の中で困難なことにぶつかることもあると思いますが、自分で考えて挑戦して、乗り越えていく力をつけてほしいと思います。

4月1日から文部科学省は学校の教育活動ではマスクの着用を求めないことを基本としています。横浜市教育委員会からも学校での教育活動において教職員、生徒ともに、自分の判断で決めることとなりました。マスクの着脱については、人それぞれの考え方を尊重し、十分配慮するように学校でも指導していきますが、ご家庭でも同じように話していただけると助かります。

一人ひとりが「あいあふれる学校」で、様々なことに「挑戦」して成長できるように、保護者の皆様、地域の皆様には本年度も温かく支え、見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 第54回 入学式 (4/7)

第54回入学式が実施されました。今年度185名の新入生を迎え、令和5年度を開始できることを嬉しく思います。中学生として人生の中の大切な時間を汐見台中学校で過ごすこととなります。ぜひ充実した学校生活の中で仲間とともに成長してくれることを心より願っております。



[緊張した面持ちながらも希望を胸に式に参加]

[代表生徒がPTA会長より記念品を受け取る様子]

## 入学式 決意の言葉 全文



あたたかな春の訪れとともに、私たち新入生は無事に入学式を迎えることができました。本日はこのような式を開いてくださり、ありがとうございます。

新しい環境へ飛び込むということ  
どんな仲間が増えるのか  
どんな先生に出会えるのか  
どんな行事があるのか  
どんな勉強をするのか

わからないことがたくさんあります。

そんなときこのような言葉に出会いました。  
「未来がわからないことは不安じゃなくて  
希望だ」

そうか、入学することは希望への一歩なのだ  
と…………

そして今日、私は新しい仲間とどのように成長していけるのかを楽しみに汐見台中学校の門をくぐりました。

中学校ではこれまでと比べて、仲間と協力しながら創り上げていく機会が増えると思います。私はみんなに考えを伝えようと思っても、最初の一声をかけるのが苦手です。とても緊張しています。けれど仲間を信じて積極的に声をかけていくことで、苦手なことを少しずつでも克服していけたら良いなと思います。

そうして少しずつ自分を成長させていける中学校生活にしていきたいです。